

# 人工林の公益的機能回復に取り組んだ事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・町内に森林を所有されている方からの要望や、町広報誌による施業箇所の募集を行い、人工林について整備を実施することとした。

## 今後の展開

・近年の集中豪雨の状況に鑑み、今後も、長年手入れのされていない人工林の整備を進め、森林の持つ公益的機能の発揮を目指す。

## 取組の内容

- ・事業主体：世羅郡森林組合
- ・実施場所：町内19箇所
- ・業務量：18.51ha
- ・業務金額：7,472千円
- ・業務期間：令和3年6月21日～令和4年3月17日

### 【整備後】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

・町広報誌へ施業箇所の募集を掲載したことにより、事業要望だけではなく、自らが所有する山林について関心を持たれた方からの問い合わせが多くあった。

### 【整備後】



# 荒れた里山の景観保全に取り組んだ事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・マツ枯れ被害が多く、尚且つ事業効果を多くの町民に感じてもらえるよう、世羅町内の主要道路であるフルーツロードと県道56号線が交わる交差点付近の里山林について整備を行うこととした。

## 今後の展開

・町内では依然としてマツ枯れ被害が多いため、特に見通しの悪い箇所を選定しながら健全な里山林へと誘導していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：世羅町
- ・実施場所：世羅町大字徳市地区
- ・業務委託先：(株)ケイプラン
- ・業務量：4.5ha 295m<sup>3</sup>
- ・業務金額：5,622千円
- ・業務期間：令和3年12月28日  
～令和4年3月25日

### 【整備後】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

・景観保全だけでなく、鳥獣の棲み処となりにくい山へと整備することができた。

### 【悪かった点】

・冬期での発注となったため、降雪の影響により、余裕のある事業執行ができなかった。

### 【整備後】



# 歴史的文化的文化財と森林が織りなす景観の保全事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・事業実施地区は歴史的文化的文化財が多く存在する森林であり、林内には、「いこいの森」や「遊歩道」「展望台」などが整備され、多くの人々が訪れる場所となっている。しかし近年では、小径木が密生し、林内が薄暗くなっている。そこで、甲山史跡・名所伝承保全会が計画を作成し、景観の保全に努め、より多くの人々が自然に親しめる環境を整えるため、本事業に取り組むこととした。

## 取組の内容

- ・事業主体：甲山史跡・名所伝承保全会
- ・実施場所：世羅町大字甲山地区
- ・業務量：16ha
- ・業務金額：38,487千円
- ・業務期間：平成30年度～令和3年度

### 【整備後】



## 今後の展開

- ・引き続き、保全会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。
- ・今高野山開基1,200年を迎えるにあたり、事業地を活用した体験活動を実施し、事業PR活動を推進していく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・林内に設置されている休憩小屋周辺の森林整備を実施したことにより、林内に日が差し込み、山へ入りやすい環境を整えることができた。
- ・遊歩道を整備したため、案内看板を作成・設置し、事業のPRを行うことができた。

### 【整備後】



# 希少植物が自生する山林の保全事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・事業実施地は町花であるスズランが自生する森林であり、林内には、登山道が整備され、多くの方が訪れる場所となっている。しかし近年では、倒木の発生や登山道の洗堀などが見受けられる。そこで、君影会が計画を作成し、希少植物の保護に努め、保護活動を通じた地域づくりの活動と情報の発信を図るため、本事業に取り組むこととした。

## 取組の内容

- ・事業主体：君影会
- ・実施場所：世羅町大字青近地区
- ・業務量：6ha
- ・業務金額：23,500千円
- ・業務期間：令和2年度～令和3年度

### 【整備後】



## 今後の展開

- ・引き続き、君影会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。
- ・登山道沿いの森林整備を進め、日が差し込む明るい山へと変えていく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・登山道が滑りやすい土質だったため、登山に木製階段を設置したことにより、利用者の安全性を確保することができた。
- ・看板を設置したことで事業のPRを行うことができた。

### 【悪かった点】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により体験活動を実施することができなかった。

### 【整備後(上：木製階段 下：看板)】



# 歴史的建造物を取り囲む社叢の保全事例

## 事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

### 市町名：世羅町

#### 取組のきっかけ・経緯

・事業実施地区は町史跡に指定される茶臼城跡地周辺の森林であり、林内には、鎌倉時代からの歴史的建造物が多数存在する。しかし近年では、竹林が繁茂し、林内が日中でも薄暗い状態となっている。そこで、茶臼山保全会が計画を作成し、地域のシンボリック存在の茶臼山を整備し、地域の活性化を図るため、本事業に取り組むこととした。

#### 取組の内容

- ・事業主体：茶臼山保全会
- ・実施場所：世羅町大字下津田地区
- ・業務量：6ha
- ・業務金額：16,300千円
- ・業務期間：令和2年度～令和3年度

#### 【整備後】



#### 今後の展開

- ・引き続き、保全会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。
- ・竹林が再び繁茂しないよう、地域住民等で除去を行っていく。

#### 取組後の感想

##### 【良かった点】

・侵入竹の除去を重点的に行ったため、景観の保全と、山へ入りやすい環境を整えることができた。

##### 【悪かった点】

・枝打ちをしていないヒノキ林が存在するため、林内が暗い箇所が一部残ってしまった。

#### 【整備後】



# 希少植物が自生する湿地周辺の山林の保全事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・本計画実施地は、国及び県のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されている、ヤチシャジンが自生している湿地を含む森林である。しかし、湿地近くの山林は、山林所有者の高齢化が進み手入れ不足となっている。

そのため、これまで湿地周辺の保全活動を続けてきた「世羅の自然をまもる会」が主体となって景観の保全や水源涵養機能の回復を図るため、本事業に取り組むこととした。



【ヤチシャジン】

## 取組の内容

- ・事業主体：世羅の自然をまもる会
- ・実施場所：世羅町大字小世良地区
- ・業務量：1.5ha
- ・業務金額：8,150千円
- ・業務期間：令和3年度

### 【活動風景】



## 今後の展開

- ・引き続き世羅の自然をまもる会が主体となって、湿地周辺の森林整備や希少植物の保護活動を行う。
- ・湿地上流から下流にかけて一体的に整備していく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・湿地周辺の森林整備を優先的に行ったことにより、日光を遮る物がなくなり、希少植物の保全に繋げることができた。

### 【悪かった点】

- ・利用者の利便性を向上させるために、ベンチや看板を設置すれば良かった。

### 【活動風景】



# 歴史的・文化的資源周辺の森林整備事例

## 事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

## 市町名：世羅町

### 取組のきっかけ・経緯

・事業実施区域は枯木八幡神社・野原八幡神社・観音寺広場周辺の森林である。現在まで観音寺広場は地域行事を実施する場として利用されている。しかし周辺の森林は、高齢化により荒れ続け放置されたままである。土砂災害危険区域に指定されている箇所もあるため森林の公益機能の維持増進を図る必要がある。そのため、津口振興会が主体となって景観の保全や山地災害防止機能の指揮を図ることとなった。

### 取組の内容

- ・事業主体：津口振興会
- ・実施場所：世羅町大字津口地区
- ・業務量：3ha
- ・業務金額：6,400千円
- ・業務期間：令和3年度

【整備の様子】



### 今後の展開

・今後も津口振興会が中心となって、野原八幡神社・枯木八幡神社・観音寺広場それぞれの箇所に近接している地域住民が集まり、寺や神社の維持管理と併せて清掃活動等、森林保全活動を行っていく。

### 取組後の感想

#### 【良かった点】

- ・観音寺広場周辺の竹林整備を行ったことにより、景観の保全と展望を改善することができた。
- ・ベンチを設置し、利用者の利便性を向上させることができた。

#### 【悪かった点】

- ・隣接する私有地内の竹林が未整備となってしまった。

【整備後】

